

JIS

ばね用冷間圧延鋼帯

JIS G 4802 : 2019

(JISF)

令和元年 9 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	天谷 義 則	一般社団法人日本アルミニウム協会
	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会(デンカ株式会社)
	鎌土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会(長岡技術科学大学)
	倉品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会(三菱自動車工業株式会社)
	篠崎 和 夫	東京工業大学名誉教授
	種物谷 宣 高	高压ガス保安協会
	田中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	寺澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	半田 雅 俊	一般社団法人日本建設業連合会(戸田建設株式会社)
	藤田 篤 史	ステンレス協会(日本冶金工業株式会社)
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.3.1 改正：令和元.9.20

官 報 掲 載 日：令和元.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会(部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会(委員長 木村 一弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	1
4 製造方法	2
5 化学成分	2
5.1 溶鋼分析値	2
5.2 製品分析値	3
6 硬さ	3
7 鋼質	4
8 寸法及びその許容差	4
8.1 寸法の表し方	4
8.2 厚さの許容差	4
8.3 幅の許容差	5
8.4 切板の長さの許容差	5
9 横曲がり	6
10 塗油	6
11 外観	6
12 試験	7
12.1 分析試験	7
12.2 硬さ試験	7
12.3 鋼質試験	7
13 検査及び再検査	7
13.1 検査	7
13.2 再検査	8
14 表示	8
15 注文時の確認事項	8
16 報告	8
附属書 JA (参考) 調質記号 R (冷間圧延のまま) の場合の硬さ	9
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 4802:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

ばね用冷間圧延鋼帯

Cold-reduced steel strip for springs

序文

この規格は、2007年に第3版として発行されたISO 4960を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、主として薄板ばね及びぜんまいばねに使用される鋼帯（以下、鋼帯という。）及び鋼帯からせん断した鋼板（以下、切板という。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 4960:2007, Cold-reduced carbon steel strip with a mass fraction of carbon over 0.25 % (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品－検査文書

JIS G 0553 鋼のマクロ組織試験方法

JIS G 0555 鋼の非金属介在物の顕微鏡試験方法

JIS G 0558 鋼の脱炭層深さ測定方法

JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験－試験方法

注記 対応国際規格：ISO 6507-1, Metallic materials－Vickers hardness test－Part 1: Test method (MOD)

3 種類及び記号

鋼帯及び切板の種類は9種類とし、種類の記号は表1による。